

【公開文】

臨床研究

「下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する陽子線治療成績の検討」について

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌は、稀な疾患で予後も不良な疾患です。治療法について、肝癌診療ガイドラインにおいて現在標準治療として確立されているものがありません。この研究では下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対して、筑波大学附属病院で陽子線治療を受けた患者の予後を検討することで、陽子線治療の効果を明らかにし、下大静脈腫瘍栓肝細胞癌の患者様に対して新たな治療の選択肢を提示することが目的です。

② 研究対象者

2005年1月1日から2015年12月31日までの間に当院にて陽子線治療を施行された、下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌症例

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2019年3月31日まで

④ 研究の方法

下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対して、筑波大学附属病院で陽子線治療を受けた患者の予後を検討し陽子線の有効性について検討します。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

診療記録：年齢、性別、身長、体重、病因、肝機能、腫瘍マーカー、腫瘍の局在・径、標的線量/分割/治療期間、治療開始時全身状態 PS、陽子線治療開始日、陽子線治療終了日、早期有害事象と重症度、晩期有害事象と重症度、最終生存/死亡確認日、再発の有無

⑥ 試料・情報の第三者への提供について：ありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 奥村敏之

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 研究責任者 櫻井英幸

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 利益相反

特記事項ありません。尚、本研究の研究費については、大学の運営交付金を使用して実施いたします。

す。

⑪ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線腫瘍科 奥村敏之

電話・FAX：029-853-7132 (tel) 029-853-7102 (fax)

対応可能時間：9:00～17:00